

平成 25 年度事業報告書

当財団は、平成 25 年 3 月 19 日に公益法人としての認定を受け新たな公益法人として、また設立 30 周年と言う節目の年を迎えたことから、30 周年を記念して 30 年のあゆみをまとめた記念冊子を発行したほか、産地組合等と連携し、年間を通じて様々な 30 周年記念事業を開催した。

また、公益目的にそった展示場となるよう一部改装を行い、より一層の地場産業紹介機能の充実を図るとともに、事業の見直しや振興事業の充実を図り、地場産業振興の拠点施設としての役割、機能を十分に果たすべく、国・県及び関係市町村、並びに関係諸団体との連携に努め、以下の事業を実施した。

財団設立及び開館 30 年記念事業としては、産地組合と連携し開催した「高岡銅器まつり」や規模を拡大し開催した「富山県伝統工芸士展」、新幹線 P R 事業としては、両国国技館での「スモール・メイカーズ・ショー」に出展するなど様々な情報提供事業に取り組んだ。

25 年度のバスの立ち寄り台数は 72 台で、昨年 (93 台) より 22.6% 減少した。来館者数は、87,940 人で、昨年 (87,700 人) より 0.3% 増加した。

一方、高岡市内の小・中学校の児童、生徒の「ものづくり・デザイン科」の実習及び見学に訪れた人数は 2,071 人で、昨年 (1,921 人) より 7.8% 増加した。一般の方による体験学習の参加人数は 631 人で、昨年 (287 人) より大幅に増加した。

なお、資金の収支状況については次のとおりとなった。

事業活動収支については、事業収入では参加料等収入が 2,597 千円で、(対前年 394 千円) で 17.9% の増加となった。

施設使用料収入は 17,223 千円 (対前年△2,026 千円) で 10.5% の減少となった。主な要因としては、4 F テナント事務所の入替えに伴い、改修工事期間を含め 4 か月間の空室によるものであった。

施設使用料収入のうちの貸室収入については 8,524 千円となり、昨年 (8,733 千円) より 2.4% 減少した。稼働率 (施設毎に、1 日 1 回以上の利用を 1 と数え、開館日数 (351 日) で除した率) は、34.5% となり、昨年 (38.1%) より 3.6% 減少した。

販売事業収入については、展示即売売上では 32,004 千円 (対前年△5,938 千円、15.7% 減) となり、仕入額が 22,948 千円 (対前年△4,545 千円、16.5% 減) であったことから、販売手数料は 9,056 千円 (対前年△1,393 千円) で 13.3% の減少となった。D.front 手数料は 569 千円 (対前年 122 千円増) であった。

平成 25 年度における事業活動収入計は 136,703 千円、事業活動支出計が 127,323 千円で収支差額は 9,380 千円となった。

また、投資活動収支においては、投資活動収入計は 4,060 千円となり、投資活動支出計は 11,280 千円で収支差額は△7,220 千円となった。投資活動収入は、30 周年記念事業に備えた積立の取崩し及び建物等修繕に備えた積立の取崩しであった。投資活動支出の主なものは、

4 Fテナント事務所の改修工事、計画中のトイレ改修工事、展示場の新たな展示台の設置、また、将来の支払いに備えた退職給付資産の積立、計画中の建物修繕のための積立などの特定資産取得支出であった。

さらに、財務活動収支においては、財務活動収入計が 5,793 千円で財務活動支出計が 5,701 千円で収支差額は 92 千円となった。財務活動収入の内容は 4 Fテナント事務所改修工事のための長期借入金であり、財務活動支出の内容は従前の長期借入金の返済であった。

以上、事業活動、投資活動、財務活動の収支差額を加えた当期収支差額は 2,252 千円となり、前期繰越収支差額 3,218 千円を加えた次期繰越収支差額は 5,470 千円となった。

【公益目的事業】

1 地場産業拠点施設運営事業

(1) 高岡地域地場産業センター設置管理事業

施設改修及び清掃や修繕により、利用しやすい施設運営を図った。

(2) 施設貸出事業

公益目的事業に合致した事業を行うものについて、施設の貸出を行い、期間・利用料について施設利用規程に基づき優遇措置を行った。

2 地場産業普及開拓事業

(1) 販路開拓事業

伝統的工芸品産業支援事業及び富山県地域産業活性化事業を活用し、首都圏においての展示会「第 77 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2014」へ出展し、新しい顧客の開拓を目指し積極的に高岡地域の伝統的工芸品の PR に努めた。今年度は出展前に各企業が定めた見本市出展の具体的な参加目標に合わせた専門家からの相談機会を設けたほか、引き続き各産地・企業の基礎体力を上げるための情報提供を行い、参加企業の支援に努めた。また、アパレル系見本市として日本最大級の「rooms27」にも初出展し新たな販路の開拓に努めた。

「rooms27」

- ・日 時 平成 25 年 9 月 11 日(水)～13 日(金)
- ・場 所 国立代々木競技場 第一体育館(東京都渋谷区神南 2-1-1)
- ・出展数 7 社、約 307 点
- ・来場者数 全体で 18,000 人(会期中のお問い合わせ件数：103 件)

「第 77 回東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2014」

- ・日 時 平成 26 年 2 月 5 日(水)～7 日(金)

- ・場 所 東京国際展示場(東京都江東区有明3丁目21番地1号)
- ・出展数 19社、約486点
- ・来場者数 全体で196,378人(会期中のお問い合わせ件数:277件)

(2) 地場産業品普及事業

①全国の地場産業振興センター等が開催するイベントへの出展等

全国の地場産業振興センター等が開催するイベントに伝統的工芸品や地場産品等を出展・紹介し、高岡地域の地場産品のPRを行った。

ア「じばさんフェア2013」への出展

- ・日時 平成25年10月26日(土)~27日(日)
- ・主催、場所 (一財)備後地域地場産業振興センター

イ「全国うまいもの市」への出展

- ・日時 平成25年11月9日(土)~10日(日)
- ・主催、場所 (公財)山口・防府地域工芸地場産業振興センター

②市内公共施設での地場産品の展示・紹介

高岡商工会議所2階ロビーにおいて技術・技法を駆使したブロンズ像等や漆器作品を展示紹介して来館者への伝統的工芸品に対する理解を深め、PRに努めた。

③観光関連事業への参加協力

ア「砺波チューリップフェア」への出展

- ・日時 平成25年4月26日(金)
- ・場所 富山県砺波市 砺波チューリップフェア会場

イ「金沢百万石まつり」への出展

- ・日時 平成25年6月1日(土)~2日(日)
- ・場所 石川県金沢市 金沢城址公園

ウ「スモール・メイカーズ・ショー」への出展

- ・日時 平成25年8月7日(水)~8日(木)
- ・場所 東京都墨田区 両国国技館

エ「第88回謙信公祭」への出展

- ・日時 平成25年8月24日(土)~25日(日)
- ・場所 新潟県上越市 春日山城史跡広場

オ「客船飛鳥Ⅱ」への出向宣伝

- ・日時 平成 25 年 8 月 29 日（木）
- ・場所 富山県高岡市 伏木港

カ「客船 Voyager of the Seas」への出向宣伝

- ・日時 平成 25 年 9 月 10 日（火）
- ・場所 富山県高岡市 伏木港

キ「日本酒で乾杯・高岡大会」への出展

- ・日時 平成 25 年 10 月 5 日（土）
- ・場所 富山県高岡市 高岡古城公園

ク「武蔵小山商店街・越中たかおか屋」への出展

- ・日時 平成 25 年 10 月 14 日（月）～20 日（日）
- ・場所 東京都品川区武蔵小山商店街

ケ「松坂屋名古屋店」への出展

- ・日時 平成 25 年 10 月 30 日（木）～11 月 5 日（火）
- ・場所 愛知県名古屋市

コ「大仏つながり！こんにちは「富山県高岡市」です！」への出展

- ・日時 平成 26 年 1 月 18 日（土）～19 日（日）
- ・場所 神奈川県鎌倉市 江ノ電長谷駅

④高岡地域地場産業センター展示場を利用した県内地場産品情報の提供

本館展示場において、伝統的工芸品や県内地場産品の展示紹介を行った。季節ごとなどの企画展示を充実させ、より興味を深めてもらう方法を工夫しながら、来館者の増加に努めた。

⑤「D. f r o n t」の運営

御旅屋通において伝統的工芸品を中心とした地場産品の企画展示を行い、地域内外の方々への情報提供に努めた。

(3) 来館者誘致事業

30 周年記念として通年でイベントを開催し、地場産品の P R、情報発信に努める。旅

行エージェント等、県外への情報発信についても継続して充実に努めた。

(4) 地場産業情報提供事業

①HP等を利用した情報発信

公益目的に沿うようホームページの改修を行い、財団事業についての概要説明や情報提供の充実に図り、産業や代表商品の魅力、使い方等がより具体的に紹介できるような内容とした。また、3月5日～19日までECサイトLUXAにて、地場産品や工芸品の制作工程の紹介などを行った。

②高岡地域地場産業センター展示スペースを利用した情報提供

1階ロビーを活用し、30周年記念事業として高岡銅器協同組合と協力し「一木一草展」(5/22～6/2、9/25～30)の開催や、高岡市伝統工芸産業技術者養成スクール修了制作展(3/19～23)の開催などにより情報提供を行った。

③県内地場産品の情報提供を目途とした産業資料館の充実

県内の伝統的工芸品の製造工程を紹介し、伝統工芸士等の作品を展示することにより伝統工芸品の普及を図った。

(5) 30周年記念事業

財団設立および開館30年を記念し、30年のあゆみをまとめた小冊子を発行するほか、産地組合等と協力し、地元における地場産品の歴史、特色など様々な情報提供の機会を設けた。

① 高岡銅器まつり

- ・日時 平成25年4月28日(日)～5月5日(日)
- ・主催、場所 伝統工芸高岡銅器振興協同組合
高岡地域地場産業センター2階大ホール・1階ロビー・室外展示

② 一木一草展

- ・日時(春の段) 平成25年5月22日(水)～6月2日(日)
- ・主催、場所 高岡銅器協同組合 高岡地域地場産業センター1階ロビー
- ・日時(秋の段) 平成25年9月25日(水)～30(月)
- ・主催、場所 高岡銅器協同組合 高岡地域地場産業センター1階ロビー

③ 富山県伝統工芸士展

- ・日時 平成25年8月9日(金)～11日(日)
- ・主催、場所 富山県伝統工芸士会 高岡地域地場産業センター2階大ホール

④ 越中和紙まつり

- ・日時 平成 25 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）
- ・主催、場所 富山県和紙協同組合 高岡地域地場産業センター2 階大ホール

⑤ 全国ちぎり絵展秀作展

- ・日時 平成 25 年 10 月 19 日（土）～20 日（日）
- ・主催、場所 富山県和紙協同組合 高岡地域地場産業センター2 階大ホール

⑥ 高岡漆器展示会・漆器に親しむつどい

- ・日時 平成 25 年 10 月 25 日（金）～27 日（日）
- ・主催、場所 伝統工芸高岡漆器協同組合 高岡地域地場産業センター2 階大ホール

⑦ 開館 30 年と公益法人化にあたり記念冊子「30 年のあゆみ」を 5 月に発行

3 人材育成事業

(1) 青少年育成事業

小・中・養護学校の児童・生徒の体験実習を支援するため体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、伝統的工芸品への理解と「ものづくり」への関心を高め、児童生徒の指導を行う教職員への研修事業に対しても支援を行った。

① 「ものづくり・デザイン科」授業の実習支援

鋳物体験工房や漆器体験工房、展示即売場、産業資料館を活用し、高岡市内小・中学校の「ものづくり・デザイン科」体験教室に次のとおり支援・協力を行った。

平成 25 年 5 月 27 日を初回に、年間 22 日間にわたって延べ 19 校(37 クラス、1,028 名)が体験実習した。

ア 鋳物の体験

小学 5 年生 16 校 (33 クラス、929 名)、小学 6 年生 2 校 (2 クラス、44 名)
錫の鋳込みを実習

イ 漆器の体験

中学 1 年生 1 校 (2 クラス、55 名)
螺鈿貼りを実習

ウ 産業資料館の見学

小学 5 年生 12 校 (21 クラス、932 名)、小学 6 年生 3 校 (5 クラス、111 名)

中学1年生1校（1クラス、29名）

② 教職員等指導者の育成

小・中学校教職員を対象にした「ものづくり・デザイン科」授業に必要な技術・知識習得と指導者養成のため、1講座2日（6時間）の講座を鋳物体験及び漆器体験について各々1講座開催した。

鋳物体験講座受講者数 11名。漆器体験講座受講者数 31名。

- ・漆器体験講座 平成25年7月31日(水)、8月5日(月) 午前9時～12時
- ・鋳物体験講座 平成25年7月31日(水)、8月5日(月) 午後1時半～4時半

(2) 工芸技術体験普及事業

広く一般市民に対し、工芸技術を体験できる機会を提供した。

- ・鋳物体験（ミニ水盤の製作体験） 25団体 543人の参加
- ・漆器体験（アクセサリー、ミニパネル、盃の加飾体験） 5団体 88人の参加

(3) 産学官連携事業

引き続き漆園場において漆木の育成を行った。また、産学官連携し、展示場内における情報発信のあり方について検討を行った。

① 漆木育成

- ・日 時 平成25年4月12日(金) 江浚い
平成25年5月26日(日) 草刈り、肥料
平成25年7月22日(日) 草刈り
平成25年9月23日(月.祝) 草刈り
平成25年9月25日(水) 害虫調査
平成25年11月24日(日) 草刈り
平成25年12月5日(木) 雪囲い
- ・場 所 第1、第2、第3 漆木実験圃場（高岡市福岡町赤丸 浅井神社付近）

② 展示場内における情報発信のあり方検討委員会の開催

- ・開催 第一回 平成25年11月22日(金)
第二回 平成26年1月17日(金)
第三回 平成26年3月7日(金)
- ・会場 高岡地域地場産業センター303 会議室

4 地場産業支援事業

(1) 商品開発支援事業

①商品開発支援

年3回のセット商品企画の継続・充実と、その展開を通じた情報提供を行ったほか、ニーズの把握に努め業界へのフィードバックを行った。

②POS 管理によるマーケティング支援

展示場での販売実績による POS データを活用し、消費者ニーズの分析を行って業界へと還元した。

(2)産業支援事業

①事務運営による団体支援

ア高岡地域文化財等修理協会

高岡地域文化財等修理協会が実施する文化財等における修理技術の向上・継承や後継者育成等に対して支援した。

(ア)文化財修理工事事業

- ・高岡御車山通町車輪修繕工事 他8件

(イ)祭屋台等製作修理技術者会への推薦及び研修会への参加

イ富山県伝統工芸士会

富山県伝統工芸士会が実施する工芸士展の開催等に対して支援した。

第17回富山県伝統工芸士展（伝統的工芸ふるさと体験・交流事業併催）

- ・日 時 平成25年8月9日(金)～11日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2階大ホール
- ・主 催 富山県伝統工芸士会

ウ富山県伝統産業協議会

各伝統工芸品産地組合が実施する小・中学生を対象とした「伝統工芸品ふれあい教室」の開催に対して支援した。

(ア)銅器に親しむつどい

- ・日 時 平成25年7月28日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター 2階鋳物工房
- ・内 容 「錫製バンブル」の製作

(イ)漆器に親しむつどい

- ・日 時 平成25年10月25日(金)～10月27日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター

- ・内 容 青貝塗り加飾の体験（ふでばこ）

(ウ) 越中和紙の体験教室

- ・日 時 平成 25 年 11 月 12 日(火)、19 日(火)、21 日(木)、12 月 3 日(火)
平成 26 年 2 月 9 日(日)
- ・場 所 五箇山和紙の里、桂樹舎
- ・内 容 和紙工場見学、手すき和紙製作体験

(エ) 庄川挽物木地の体験教室

- ・日 時 平成 26 年 2 月 15 日(土)
- ・場 所 砺波市立砺波南部小学校
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、木の盆への絵付け体験

(オ) 井波彫刻の体験教室

- ・日 時 平成 25 年 11 月 25 日(月)、12 月 9 日(月)、17 日(火)
- ・場 所 井波中学校
- ・内 容 伝統的工芸品の学習、彫刻の制作体験

②その他団体に対する事務補助、支援

公益目的に合致する任意団体等の活動に対し助成を行った。

ア 高岡伝統産業青年会

第 19 回「くらしに生きる伝統のかほり展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 25 年 8 月 17 日(土)～8 月 18 日(日)
- ・場 所 東京都上野 AKI-OKA
- ・主 催 高岡伝統産業青年会

イ 高岡の伝統工芸品展

ものづくりのまち高岡が誇る伝統の技！「高岡の伝統的工芸品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 25 年 9 月 6 日(金)～16 日(火)
- ・場 所 富山県アンテナショップ いきいき富山館「情報館」
- ・主 催 高岡巧美会（高岡市伝統工芸産業技術保持者）、高岡市

ウ 日本漆器協同組合連合会

「第 48 回全国漆品展」開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 25 年 10 月 1 日(火)～10 月 7 日(月)
- ・場 所 福井県ビジネス支援センター ふくい南青山 291 2 階多目的ホール
- ・主 催 日本漆器協同組合連合会、(社)日本漆工協会、(一財)生活用品振興センター、越前漆器協同組合

エ 工芸都市高岡 2013 クラフトコンペティション実行委員会

工芸都市高岡 2013 クラフトコンペ開催への支援を行った。

- ・日 時 平成 25 年 10 月 3 日(木)～7 日(月)
- ・場 所 大和高岡店
- ・主 催 工芸都市高岡 2013 クラフトコンペティション実行委員会

オ 伝統工芸高岡漆器協同組合

「第 43 回高岡漆器展示会」副賞を供与し、新商品開発への意欲創出を図った。

- ・日 時 平成 25 年 10 月 25 日(金)～27 日(日)
- ・場 所 高岡地域地場産業センター2 階
- ・主 催 伝統工芸高岡漆器協同組合

5 技術継承支援事業

伝統的工芸品に関わるものをはじめ、県内に在る高度なものづくり技術の普及・継承を支援するため、高岡地域文化財等修理協会の活動に対する支援と、人材育成に関する連携事業を開催した。

人材育成事業としては祭屋台等制作修理技術者研修会のほか、平成の大修理の進む姫路城大天守閣の修理現場の研修視察を行い、修理工程や現場管理等について見識を深めた。

(1) ホームページの更新

高岡地域文化財等修理協会のホームページを更新し、新たな受注の確保に努めた。

(2) 出前講座の実施

県外の祭礼行事及び保存状況について確認すると共に、修理協会の PR 活動に努めた。

① 静岡県袋井市

- ・日 時 平成 26 年 1 月 19 日(日)、20 日(月)
- ・場 所 19 日 (日) 川井西町公会堂、山蔵
20 日 (月) 袋井市役所 浅羽支所
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会 5 名、事務局 1 名
- ・対応者 袋井まつり実行委員会、袋井市教育委員会生涯学習課

② 福井県敦賀市

- ・日 時 平成 26 年 2 月 9 日(日)
- ・場 所 みなとつるが山車会館、山蔵
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会 5 名、事務局 1 名
- ・対応者 敦賀山車保存会、敦賀市教育委員会文化振興課、みなとつるが山車会館館長

(3) 修理現場への視察

修理協会会員の育成及び技術の向上・継承等を図ることが必要なことから、文化財等の修復を手掛けている修理作業場を視察する技術研修や祭屋台等製作修理技術者研修会への参加を行った。

① 視察研修会

- ・日 時 平成 25 年 9 月 18 日(水)、19 日(木)
- ・場 所 兵庫県姫路市
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会 14 名、事務局 2 名
- ・研修内容
 - 1 日目 兵庫県立歴史博物館内にて過去の大修理や歴史などについての研修を受ける。
 - 2 日目 姫路城大天守平成の大修理の現場にて文化財修理の視察研修を行った。

② 技術研修会

- ・日 時 平成 25 年 11 月 16 日(土)、17 日(日)
- ・場 所 福岡県北九州市
- ・参加者 高岡地域文化財等修理協会 11 名、事務局 1 名
- ・研修内容
 - 1 日目 講演会第 1 部「民俗文化財の保存修理で伝統技術を守る」
講演会第 2 部「神さんの足になる漢(戸畑祇園大山笠祭礼行事紹介)」
山車視察「戸畑祇園大山笠、旧幔幕、旧標旗など」
 - 2 日目 視察研修 国指定重要文化財「旧松本家住宅」、北九州市立自然史・歴史博物館内の戸畑祇園大山笠展示場

【収益事業】

1 不動産貸事業

高層棟に新たな入居者が決まったことにより、空調等の設備改修を行った。

2 施設貸出事業

館内環境の整備につとめ、ホール・会議室とも一層の利用率向上に努めた。

3 一般品目販売事業

施設利用者の便に供するような飲料品、観光土産品等、公益目的には合致しない商品については、展示場販売額の1割を目安に取り扱いを継続した。

【管理事業（法人会計）】

1 理事会・評議員会の開催

センターの適正・円滑な運営を図るため、理事会・評議員会を開催した。

(1) 理事会

- ア ・ 第1回開催 平成25年5月31日（金）
・ 主な審議内容 平成24年度事業報告・収支決算等

- イ ・ 第2回開催 平成25年7月1日（月）
・ 主な審議内容 副理事長（代表理事）の選定（みなし決議）

- ウ ・ 第3回開催 平成26年3月28日（金）
・ 主な審議内容 平成26年度事業計画・収支予算等

(2) 評議員会

- ・ 第1回開催 平成25年6月21日（金）
- ・ 主な審議内容 平成24年度収支決算、役員・評議員の選任

2 全国地場産業振興センター協議会への参加

各センターの事業運営について意見交換するとともに、協議会として公益法人制度改革及び地場産業の育成・振興に関する重要事項に関して、国等に対して陳情を行った。また、公益法人改革や、公益法人認定についての研修会に参加した。

- 総会 ・ 日時 平成25年7月25日(木)～26日(金)
・ 場所、主催 (一財)但馬地域地場産業振興センター